

3年ぶりに春のまつり開催

第1回 つがる市春まつり



迫力のステージ、げんと杯チャンピオンショー



「パンパカパン」を踊る木造保育所の女の子たち



つがる市民の歌がお披露目されました



多くのお客さんで賑わう出店前



桜の下で酒を酌み交わす仲間たち



夜には桜がライトアップされました

第一回つがる市春まつりが4月29日、30日、平滝沼公園で行われました。今年は桜の開花が早く、まつり期間中は散り始めの状態。初日はあいにくの雨となりましたが、2日目は晴れの天気恵まれ、市内外から訪れた家族連れや友人グループがまつりを楽しみました。

開会行事では、主催者であるつがる市観光物産協会の川嶋大史会長が「このまつりは会員の手作りをスローガンとし、昨年の秋から準備してきました。皆さん楽しんでいただく下さい」とあいさつ。ステージでは市内子ども園の園児による出し物や上原げんと杯チャンピオンショーなどが行われ、盛り上げたほか、焼きそばなどの出店が並び、訪れた親子連れらは食事や酒宴を楽しみました。また、今年完成した「つがる市民の歌」の発表があり、福島弘芳市長、佐々木慶和市議会議員、園児らによる除幕式が行われました。除幕されたあと、集まった市民が風船を飛ばして祝福し、木造高校吹奏楽部の演奏により市民の歌が初披露されました。

春の景色を楽しみながら

2016 おやこウォーク in 地球村



豊かな自然の中ウォーキングを楽しむ

「つがる市おやこウォーク」が5月1日、つがる地球村で開催され、県内各地から約600人の親子連れらが参加しました。3キロ、6キロ、10キロ、15キロの4つのコースに分かれてスタートし、少しひんやりとした空気の中、舞い散るソメイヨシノや見ごろを迎えた八重桜など、春の景色を楽しみながら、心地よい汗を流しました。3キロコースを完歩した神美優ちゃん(4才)は「みんなで歩いて楽しかった。来年も来たい」と満足気に話しました。

ゴールドンウィークの恒例行事となつたおやこウォークは今回で13回目。実行委員長の今淳一さんは「おやこウォークのテーマは絆。家族や仲間との絆を感じてください」と話しました。

また、会場ではよさこい知求群会の演舞やアトラクション、お楽しみ抽選会を実施。カレーやそばなどの食事も振る舞われ、子どもから大人まで楽しい1日を過ごしました。



ゴールをよろこぶ子どもたち



おやこでゴールを目指します



会場を盛り上げたアトラクション

オリンピック金メダル監督から学ぶ

斎藤春香さんソフトボール教室

教室では守備と打撃の基本動作や普段の何気ない姿勢、声を掛け合うことの大切さなどを指導しました。守備では「常に動ける体勢を保つには、腰を落として膝の使い方を意識すること」、打撃では「軸をぶらさない、焼き鳥みたいに串が刺さったイメージ」など具体的な指導があり、参加者は世界で活躍した斎藤さんの指導を熱心に聞いていました。最後に斎藤さんは「夢は大きく、つがる市から世界へ羽ばたく選手を目指してがんばってください」と参加した児童生徒を激励しました。

参加した柏中学校3年、ソフトボール部キャプテンの山本来海さんは「守備の仕方、腰を落として守るなどの基本が、チームみんなの参考になった。個人的にはバッティング、体の軸を意識してがんばりたい」と話しました。

ソフトボール元女子日本代表監督で弘前市職員の斎藤春香さんを講師に招いたソフトボール教室が4月23日、木造高校グラウンドで行われました。この教室は市体育協会(成田昭司会長)が主催。この日は市内の小中学校や津軽地域の高校などから約100人が参加しました。



講師の斎藤春香さん



斎藤さんの打撃の実演を熱心に見る参加者



貴重な直接指導



みんなで守備の基本姿勢を練習